## 第5期吹田市障がい福祉計画及び第1期吹田市障がい児福祉計画の 進捗管理について

設定した見込量等の達成状況の分析及び評価を行うなど、PDCAサイクルを取り入れた進行 管理を行っていきます。今回作成する「評価・管理シート(案)」に基づき、評価を行います。 また、その内容は吹田市障がい者施策推進委員会において報告を行い、次年度の事業推進に つなげる取組みを進めます。

## 1 評価・管理シート(案)について ・・・ 資料1-2のとおり

### (1) 第5期吹田市障がい福祉計画

以下の7項目のシートを作成し、評価を行っていきます。

【障がい福祉サービスの提供体制の整備等(成果目標・活動指標)】

- ① 福祉施設の入所者の地域生活への移行
- ② 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム(障がい版)の構築
- ③ 障がい者地域生活の支援
- ④ 福祉事業所から一般就労への移行等

【生活の場面別の課題(活動指標)】

- ⑤ 居宅生活(暮らす・憩う)の支援体制の整備
- ⑥ 日中活動(働く・活動する)/余暇活動(遊ぶ・学ぶ)の支援体制の整備
- ⑦ 福祉サービスの担い手の確保
- (2) 第1期吹田市障がい児福祉計画

以下の3項目のシートを作成し、評価を行っていきます。

- ① 障がい児支援の提供体制の整備等(成果目標)
- ② 障がい児支援の種類ごとの必要見込量(活動指標)
- ③ 重点課題別

### 2 評価スケジュールについて ・・・ 資料1-3のとおり

翌年度の5月から7月に、実績等(一部速報値)をまとめ、評価を行います。評価内容は、8月頃 開催の吹田市障がい者施策推進委員会で報告を行い、意見等をいただくものとし、評価の結果を 翌年度の事業推進につなげる取組みを進めます。

年度末の2月頃開催の吹田市障がい者施策推進委員会において、年度の事業報告を行います。

成果	引標(Plan)	1		福祉施設の入所	「者の地域生活へ	への移行	
(1)	目標値と考えた	<b></b>	<b>.</b>				
	施設 1 ※H28末	年度末時 入所者数 <b>73人</b> 特点の待相 69人		① 9%+ 地域移 ② 2%以 減少数	度末までの 行者数 <b>)人</b> 度末までの 者減少数		
(2)	進捗状況(Do)						1
					進捗状況		
	項				第5期 (目標値) 20人		
				施設入所者減少			
						平成32年度 (2020年度)	
	① 地域移行	<b></b>					
	② 施設入所	音(減少	)数				
		入点	近				
		退原	近				
(0)	=== (OL L)						
(3)	評価(Check)						
(4)	今後の方向性(	Action	(۱				

成果	具目標(Plan)	2		精神障がいにも	対応した地域包	型括ケアシステ <i>L</i>	ムの構築
(1)	目標値と考え方						
	保健・医療・ による協 <b>未</b> 診		係者			平成32年度 <b>設</b>	
(2)	進捗状況(Do)						
					進捗状況		
	項 E	3			第5期 (目標値)		
					協議の場 : 設置		
				平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	
	設置の有	無					
	設置の方	法			精神障がい者支援部: 係者による協議の場		
(3)	評価(Check)						
(4)	今後の方向性(A	ctior	1)				

成果	引標(Plan)	3	障がい者地域生活の支援	
(1)	目標値と考え方			
	地域生活えの	支援拠点 逢備	等のは、「「「おおおり」という。」という。	ままでの整備数 <b>)^所</b>
(2)	進捗状況(Do)			
	項 [	∄	進捗状況 第5期 (目標値) 拠点等の整備: 1か所設置。 拠点施設としての役割を充実させる。	
			平成30年度 平成31年度 平成32年度 (2018年度) (2019年度) (2020年度)	
	設置の有	無		
	備	考		
			<b>-</b>	1
(3)	評価(Check)			
(4)	今後の方向性(A	Action		

成果目標(Plan) 福祉事業所から一般就労への移行等 4 (1) 目標値と考え方 平成32年度目標値 福祉事業所からの 1 1.4倍以上 一般就労移行者 を目指す 81人(1.4倍) 平成28年度実績値 58人 2 就労移行支援事業所 平成32年度目標値 2割以上の増加 の利用者 を目指す 144人(2割増) 平成28年度実績値 120人 平成32年度目標値 就労移行支援事業所 5割以上の増加 3 の就労移行率3割以上 を目指す 全体の5割以上 の事業所の割合 4 支援を開始した時点から 基盤を 就労定着支援事業所 1年後の職場定着率 整備する の整備 80%以上 **⑤** 就労継続支援(B型)事業所 就労継続支援(B型)事業所 における平均工賃 個々の事業所が における平均工賃 目標額を設定 平成32年度目標值 平成28年度実績値 12,517円 17,560円

成男	引標(Plan)	4		福祉事業所から一般	就労への移行等	
(2)	進捗状況(Do)					
① ② ③ ④ ⑤	項 目  一般就労移行者数  就労移行支援事業所  就労移行率3割の事  支援開始から1年後  平均工賃額(就労継  評価(Check)	業所の第の職場	割合 定着率	④ 就労定着支援事業所の		)職場定着率80%以上
(4)	今後の方向性(A	ctior	1)			

場面別 (Plan)

1 居宅生活(暮らす・憩う)の支援体制の整備

## (1) 具体的な取組

- ア 訪問系サービスの整備
  - 医療的ケアを行うための喀痰吸引等研修、同行援護従業者研修、強度行動障がい支援者養成研修(基礎・実践)等の 受講支援
  - 重度障がい者に対する支給量を十分に確保する等手厚い体制での支援を実施
- イ 短期入所サービスの整備
  - 利用者の多様なニーズに対応できるよう、短期入所事業所のネットワークを構築
  - 緊急時利用への対応の機能整備
  - 一人暮らしやグループホーム等での生活の練習のための生活体験利用の促進
  - 医療的ケア等の対応可能な事業所の整備及び医療機関などの関係機関との連携
- ウ 居住系サービスの整備
  - グループホームの整備を図るための事業構築
  - 医療的ケアが必要、強度行動障がい等の重度障がい者が利用できるグループホームの整備の推進
  - グループホームの整備の促進を図るため、障がい者に対する正しい理解や知識についての啓発活動の推進
  - 施設入所支援が必要な人が利用できるよう、待機者の状況把握及び入所調整を実施
  - 施設からの地域移行や親元からの自立のための体験型グループホームの整備
- エ 計画相談支援、地域移行支援、地域定着支援の整備
  - すべての障がい福祉サービス利用者に対しサービス等利用計画書の作成ができるよう事業所の整備及び事業運営の 安定化を図るためモニタリングのあり方を検討
  - 市内の事業所で組織している「計画相談支援事業者連絡会」と連携した相談支援専門員のスキルアップの促進
- オ 地域生活支援事業(相談支援事業など)の整備
  - 市域を6地域に分割し、各地域に障がい者相談支援センターを配置
  - 基幹相談支援センターによる障がい者相談支援センター及び計画相談支援事業所に対するバックアップ機能の強化
  - 成年後見制度利用支援事業の普及啓発等
  - 在宅の身体障がい者の生活を支援するための訪問入浴サービス事業の継続及びサービスの質の向上と提供体制の確保

場面別(Plan)	1	居宅生活(暮らす・憩う)の支援体制の整備
-----------	---	----------------------

(2)	進捗	状況(活動指標)(Do)								
		年度			平成30年度			31年度	平成32年度	
			利用者数	<u>込量</u> 利用量	利用者数	€績 利用量	見: 利用者数	込量 利用量	利用者数	込量 利用量
	居宅		1,050人	14,700時間	机用自数	和加里	初用日数	和近内里	初历日数	心力里
-	重度訪問介護		27人	4,050時間						
-	同行		124人	2,720時間						
	行動		210人	2,690時間						
		 	1人	240時間						
	短期		440人	1,740人日						
			540人							
			172人							
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8人							
-		相談支援	1,600人	//						
-		移行支援	20人	//						
	地域!	定着支援	12人							
		年度		平成3	O年度		平成3		平成3	32年度
			見込量		実績			込量		込量
<u> </u>		T	利用者数	利用量	利用者数	利用量	利用者数	利用量	利用者数	利用量
		介護訓練支援用具		45件						
	常生活	自立生活支援用具		150件						
	旧用具	在宅療養等支援用具		90件						
オ	給付	情報・意思疎通 支援用具		400件						
	等事	排せつ管理支援用具		7,800件						
	業	居宅生活動作補助 用具(住宅改修費)		13件						
	訪問。	入浴サービス事業		1,121人日						
				平成3	O年度		平成3	31年度	平成3	32年度
			実施	<u> </u>		<b>E</b> 績		見込み		見込み
	相	障がい者相談支援事業		6か所						
	談支	基幹相談支援センター		有						
	援事	基幹相談支援センター 等機能強化事業		有						
オ	業	住居入居等支援事業 (住居サポート事業)		有						
	理解			有						
	成在	後見制度利用支援事業		有						
ļ	12X-T									

場面別	(Plan)	1	居宅生活(暮らす・憩う)の支援体制の整備
(3) 重点課題別	」 評価(Check)	⇒≑	後の方向性(Action)
重点課題1	福祉サービス及び	計画	目談支援事業所の整備
評価 (C)			
今後の方向性(	(A)		
Γ			
重点課題2 評価(C)	障がい者相談支援	セン	ターの整備
1841m (C)			
今後の方向性(	(A)		
重点課題3	緊急対応システム	の構	<b>養及び体験入居(生活体験・訓練)の場</b>
評価 (C)			
今後の方向性(	(A)		
重点課題4	意思決定支援の仮		
評価 (C)			
今後の方向性(	(A)		

場面別 (Plan) 2 日中活動 (働く・活動する) / 余暇活動 (遊ぶ・学ぶ) の支援体制の整備

### (1) 具体的な取組

- ア 日中活動系サービスの整備
  - 医療的ケアの必要な障がい者の日中活動の場の整備
  - 日中活動の場の整備を促進するための取組み

### イ 地域生活支援事業の整備

### 【意思疎通支援事業】

- サービスの質の向上、社会参加の支援のための手話通訳者及び要約筆記者の派遣体制の充実
- ボランティア団体等との連携
- 手話通訳奉仕員や要約筆記奉仕員の育成(養成研修の実施)
- 重度障がい者の入院時のコミュニケーションを円滑にするための支援員の派遣事業の評価・検証の実施

### 【移動支援事業】

- 人材の育成の推進(ガイドヘルパー養成講座等の吹田市障がい者等居宅介護等事業所連絡会との協働開催)
- 重度障がい者に対する支給量を十分に確保する等手厚い体制での支援を実施
- 事業の活性化及び事業内容の充実(外出先の確保等)

### 【地域活動支援センター事業】

○ 精神障がい者の地域移行の促進及び地域生活の充実(地域活動支援センター I 型の整備・機能強化)

#### 【日中一時支援事業】

○ 特に、成人の余暇活動支援とするサービスの提供体制の充実

### (2) 進捗状況(活動指標)(Do)

	年度		平成30年度				平成31年度		平成32年度	
				実績		見込量		見込量		
		利用者数	利用量	利用者数	利用量	利用者数	利用量	利用者数	利用量	
	生活介護	1,050人	17,850人日							
	自立(機能)訓練	5人	40人日							
	自立(生活)訓練	90人	990人日							
ア	療養介護	40人								
)	就労移行支援	132人	1,190人日							
	就労継続支援A型	250人	3,440人日							
	就労継続支援B型	470人	6,530人日							
	就労定着支援	66人								
	支意	200人								
	援思事 要約筆記者派遣事業	5人								
1	業 通 手話通訳者設置事業 (障がい福祉室手話通訳者数)	設置人数2人								
	手話奉仕員養成研修事業 (手話奉仕員養成講習修了者数)	80人								
	移動支援事業	1,080人	205,200時間							
	日中一時支援事業		17,211人日							

場面別(	Plan)	2 日中活動(働く・活動する)/余暇活動(遊ぶ・学ぶ)の支援体制の整備				
					T = "20F#	
年	度	平成30		平成31年度	平成32年度	
ウジがまませる	<del>≒ **</del>	実施見込み	実績	実施見込み	実施見込み	
自発的活動支援等地域活動支援セン	+	有 2か所				
1 地域活動支援セン地域活動支援セン		2か所 2か所				
地域活動支援セン		2か所				
起场沿到又顶飞	, m =	2.3 171				
(3) 重点課題別 評	『価(Check)⇒今後の					
	祉サービス事業所の整					
評価(C)						
今後の方向性(A)						
重点課題2 就	労支援の充実					
評価 (C)						
今後の方向性(A)						
ラ後の月間性(A)						
(手上部取り ム	肥ま揺の方束					
重点課題3 余 評価 (C)	暇支援の充実					
今後の方向性(A)						

場面別	3 福祉サービスの担い手の確保
(1)具体的な取組(Plan)	•
福祉サービスの担い手の確保に 興室(労働担当)等の関係部局、 いて、情報を共有しながら取り組	こついて、その対策を障がい福祉室のみで取り組むのではなく、高齢福祉室、地域経済振 、大阪労働局及びハローワークと連携し、『吹田市雇用対策協定』に基づいた企画等にお 組む。
(2) 進捗状況 (Do) ○○年度の取組(実績)	
(3) 評価 (Check)	
(4)今後の方向性(Action)	

障がい児支援の提供体制の整備等 成果目標(Plan) (1) 目標値と考え方 児童発達支援センターの 平成32年度目標 1 保育所等訪問支援を併設 設置 1か所 し、設置 平成29年度実績値 設置済 平成32年度目標値 保育所等訪問支援の充実 1 さらに1か所の設置を目 4か所 指す 平成29年度実績 3か所 主に重症心身障害児を支援す 2 平成32年度目標値 る児童発達支援事業所 さらに1か所の設置を目 及び 4か所 指す 放課後等デイサービス事業所 の確保 平成29年度実績 3か所 医療的ケア児のための保健・医 3 基盤を 療・障がい福祉・保育・教育等の 平成30年度までに設置 整備する 関係機関の協議の場の設置 平成29年度実績 吹田市域療育 等関係機関連絡会での実績有 (2) 進捗状況 (Do) (3) 評価 (Check) (4) 今後の方向性 (Action)

## 活動指標

【通所系サービス(月当たり利用者数、利用量)】

【週かれり ころ(万当たり作用有数、作用里/】								
年度	平成30年度(2018年度)				平成3 (2019		平成32年度 (2020年度)	
	見記	△量	実績		見込量		見込量	
項目	利用者	利用量	利用者	利用量	利用者	利用量	利用者	利用量
	(人)	(人日)	(人)	(人日)	(人)	(人日)	(人)	(人日)
児童発達支援	373	3,210			448	3,852	537	4,622
医療型児童発達支援	63	742			66	779	69	818
放課後等デイサービス	1,024	7,738			1,228	9,285	1,474	11,142

## 【訪問系サービス(月当たり訪問回数)】

	= 1000	山凹 数/ 1		
年度		平成30年度 (2018年度)		平成32年度 (2020年度)
	見込量	実績	見込量	見込量
項目	訪問回数	訪問回数	訪問回数	訪問回数 (回)
保育所等訪問支援	5		7	10
居宅訪問型児童発達支援	3		5	8

## 【相談支援(月当たり利用者数)】

Ī	年度	平成30年度 (2018年度)		平成31年度	平成32年度		
	+ 及			(2019年度)	(2020年度)		
Ī		見込量	実績	見込量	見込量		
	項目	利用者	利用者	利用者	利用者		
Ĺ		(人)	(人)	(人)	(人)		
	障がい児相談支援	150		170	200		

## 【その他】

医療的ケア児に対する関連分野の支援調整するコーディネーターの配置人数	吹田市域療育等関係機関連絡会において 医療的ケア児支援のための協議を行うとと もに、平成30年度末までに、関連分野の 支援を調整するコーディネーターを少なくと も1名配置します。	(実績)

評価(Check)

今後の方向性(Action)

## 重点課題

### ◎ 重点課題 1

## 療育を必要とする児童の早期発見に向けた取組の推進 (検討項目)

- ・乳児後期(生後10か月頃)を対象とした親子教室の実施
- ・子育て支援コンシェルジュ事業との連携強化
- •吹田市域療育等関係機関連絡会の有機的な連携

(進捗状況)	評価(Check)	今後の方向性(Action)		
◎ 重点課題 2 乳効児期から就学後まで、ライフステージに広じた切れ日のない支援の提供				

乳幼児期から就学後まで、ライフステージに応じた切れ目のない支援の提供 (検討項目)

- ・就園・就学児童を対象とした親子教室の充実
- ・児童の成長記録や支援記録等を記載したファイルの活用
- ・保護者を対象とした学習会や支援体制の充実
- ・教育委員会及び吹田市障がい児支援事業者等連絡会等との連携強化

(進捗状況)	評価(Check)	今後の方向性(Action)

### ◎ 重点課題 3

### 医療的ケアが必要な児童の地域支援

(検討項目)

- ・医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置
- ・医療的ケア児の通所支援、訪問型支援の充実

(進捗状況)	評価(Check)	今後の方向性(Action)

### ◎ 重点課題 4

児童の発達支援や家族への支援を一体的に提供する相談支援体制の充実・強化 (検討項目)

- ・相談支援事業者のコーディネーター機能強化に向けた研修、啓発
- 新たな相談支援事業者の参入促進
- ・吹田市療育等関係機関連絡会及び吹田市障がい児支援事業者等連絡会との連携強化

(進捗状況)	評価(Check)	今後の方向性(Action)

## 障がい福祉計画・障がい児福祉計画 評価スケジュール(案) 【速報値による】

	年度 月 計画の分析・評価			大阪府による			
年度		計画の分析・評価	市	就労人数調査 (※1)	地域移行状況等 調査(※2)	工賃実績調査 (※3)	
	4月			【下旬】行政評価			
	5月			5月定例会 出納閉鎖·決算(実績確定)			
	6月	-	N-1年度事業評価				
	7月			7月定例会(H31度のみ)	REGIS LADDO	ムサイクル管理シート(※・	4)作成体酶
N	8月	施策推進委員会	評価説明・意見等		DIZINI I CA SI DOF	A) I) WEIZ I (X)	4)下及以积
	9月			9月定例会	V		
	10月			N+1年度実施計画・予算編成 決算委員会			
	11月						
	12月			12月定例会			
	1月						
N+1	2月	【初旬】施策推進委員会	N年度事業報告等	2月定例会			
	3月						